

平成28年度 政策検討の基本方針 ～北海道創生加速化元年～

基本的な考え方 人口減少や高齢化の進行により生じる様々な課題に対応し、住み慣れた北海道で安心して暮らし続け、北海道らしさを活かして、人を呼び込み、呼び戻し、そして将来にわたって発展していくための政策について、道の総合力を発揮し、重点的に推進する。

人を大事にし、人を育てる

地域で暮らし、地域を創る

価値を高め、人を呼び込む

安心のまち・暮らし「住みいる北海道」づくり

- 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
- 地域医療・福祉の充実
- 女性など多様な主体の活躍の場づくり
- 「小さな拠点」づくりの推進
- 高齢者、障がい者が安心して暮らすことができる社会づくり
- 買い物や通院、見守りを支援する仕組みづくり
- 日常生活に不可欠な生活交通の確保
- エネルギーの自給、地域循環の促進
- 北海道の土台となる農林水産業の振興
- 居住環境の魅力を活かした移住・定住促進
- まちなかへの居住や各種機能の集約などの促進
- 空き家利活用の促進
- 「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想の取組支援

北海道の未来を変える挑戦

- 未来を拓くグローバル人材の育成
- 民間活力の活用などによる起業支援体制づくり
- 女性や若年者等の就業促進と雇用の場づくり、正規雇用化の促進
- 攻めの農林水産業の確立
 - ・生産性・収益性の高い農業経営の基盤づくり
 - ・スマート農業の推進
 - ・薬用作物の生産拡大
 - ・道産木材を活用したCLTの実用化
 - ・次世代樹種「クリーンラーチ」のブランド化
- 日本海地域の漁業振興対策の推進
- プリ・サバなど新たなブランドの創出
- 農林水産業の成長を支える人材の育成・確保
- 食を中心とした輸出拡大
 - ・ターゲットを絞った戦略的なコールドチェーンの構築
 - ・HACCP導入による食品関連産業のブランド化
- 観光受入体制の飛躍的拡充
 - ・航空ネットワークの拡充などによるインバウンドの大幅拡大
 - ・「新幹線時代」の交通網整備と誘客促進
 - ・国内外からの投資の促進による観光客の受け皿づくり
- 本社機能や研修機能、テレワークなど新たな視点による企業や海外人材の誘致
- 地域産業を支えるU・Iターン人材の誘致促進

■ 教育の充実

- 北海道らしい「学びと指導」のシステム構築
- 生活困窮世帯等への学習・進学支援
- コミュニティスクールの導入促進

■ 世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現

- 未来のアスリートの育成

■ 命を守る安全・強靱化

- 災害に強い地域づくりの推進、強靱な北海道づくりの推進
- 交通安全対策や犯罪抑止対策の推進

■ 経済雇用を支える「地域産業力」の底上げ

- 高い付加価値を生み出すものづくり産業の振興
- 地域資源を活かした食関連産業の振興
- 健康長寿産業などの振興
- 中小・小規模企業の持続的発展や地域商業の活性化
- 地域の安全・安心に欠かせない建設業の振興

■ アジアの環境首都を目指す北海道づくり

- 新エネルギーの開発・活用促進や環境エネルギー産業の創出
- エゾシカなど自然との共生
- 豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承

■ 北方領土隣接地域の振興

■ 多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道のさらなる推進

■ 「世界の中の北海道」の視点を持った国際化の推進

- 「クールHOKKAIDO」の取組
- ロシア極東との経済交流の推進
- 海外との戦略的な交流の展開

■ ふるさとの歴史・文化の保全と継承

- アイヌ文化の世界への発信
- 北の縄文の世界遺産登録への取組の推進
- 北海道150年の取組の推進

道と市町村の総力で挑む北海道の未来づくり

- 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」の形成
- 振興局と地域が一体となった地域づくりの推進
- 機動力と現場力を活かした振興局機能の強化